

党創立100周年、不屈の歴史に学び、新しい政治への扉を開こう

日本共産党高知県委員会
委員長 春名直章



(室戸市吉良川町出身)

石建虎兎



(高知市廿代町出身)

楳村浩



(高知市高須絶海出身)

山崎こいと



(香美市香北町出身)

毛利猛夫



(安芸郡出身)

筒井泉吉

今年は、党創立100周年の記念すべき年です。1922年7月15日に誕生した日本共産党は、最初から非合法とされ、筆舌に尽くしがたい弾圧を受けました。それはなによりも、この党が、国民すべてを不幸にし、戦争へと駆り立てる絶対主義的天皇制に反対し、これを倒し、國民主権の道をと公然とかかげた唯一の政党だったからです。

高知県では、石建虎兎のたたかいがあったからこそ、戦後の出発点において主権在民、戦争放棄、人権尊重の新憲法が国民、県民から愛され、定着してきました。また、



「不屈」
No.581付録
高知版No.426
2022.11.10
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
高知県本部

発行責任者
森岡 幸一
TEL・FAX
088-841-0075

栄、吉田豊道(楳村浩)、山崎小糸、毛利猛夫、筒井泉吉、黒原善太郎など、共産党県委員会、共青県委員会の先輩たちが、戦争に反対し、組織をつくり、労働運動をリードしたたかいぬきました。稀代の悪法即ち治安維持法によって弾圧が強化されても、それに屈することなく、平和、民主主義、人権を守り抜いてたたかい抜いてきたことは、私たちの誇りであり、いまに受け継ぐ不屈の精神です。

このたたかいがあつたからこそ、現憲法は、日本国民、高知県民は、けつして「軍事対軍事」の破滅への道を許さないでしよう。9条を前面に掲げた平和の外交、対話の努力こそ日本を守る道とともに、この道を堂々と歩んでいきましょう。

憲法違反の国葬を強行し、反社会的集団即ち統一協会とすぶすぶの癒着が明るみに出で、さらに物価高への対応もできない

このたたかいがあつたからこそ、現憲法は、日本国民、高知県民の運動に根を張ったものとなりました。いままた憲法を壊し、アメリカの戦争に付き従つて、海外で武力を使う国への変貌がすすんでいます。しかし、日本国民、高知県民は、けつして「軍事対軍事」の破滅への道を許さないでしよう。9条を前面に掲げた平和の外交、対話の努力こそ日本を守る道とともに、この道を堂々と歩んでいきましょう。

治安維持法同盟のみなさんの活動が、戦前を繰り返さず、憲法の示す平和と民主主義の道を力強く切り拓く大きな支えになっています。ますますの発展を心から祈っています。日本共産党高知県委員会も創立100周年にあたり、みなさんとともに、歴史を切り開くことをあらためてお誓い申します。

故 猪野 瞳氏 作品

埋もれてきた群像より 「詩精神」の時代（一）

詩集防衛 目次	
われらの代を送る	村田達夫
興味	田中英士
飾装工事から	鈴木源丸
水害地の兄弟へ	横木鶴次郎
防衛	堀田義夫
この日俺たちは	小川英治
坑内の中の結婚	イ・イ生
われらが次乳袋	千田光治
登録の前	正勝
凱旋	本下郁微
ソヴェートへ代表を	新井徹
や他の兄弟へ	佐野穂夫

『詩集防衛』の目次には新井徹の「ソヴェートへ代表を」のタイトルが見える

『詩精神』が創刊されたのは一九三四年二月だった。プロレタリア文学運動は、作家同盟解体までいた。多くのかき手が発表の場所を失つてきていた。新しい詩の方法の模索もつづいていた。そんなとき、これまでのかき手があつめ、新しいかき手も加えて育てていこうとする『詩精神』の創刊は、全国の詩人にとって結集の場であり、ふたたび灯る希望であり力であった。

新井徹と遠地輝武が中井徹は朝鮮の大田中学校教員時代、植民地支配下の朝鮮の現実を詩集『土培に描く』にまとめ、本名内野健児でだすが発禁押収された。「眼／眼／眼／きらり／きらり／怨嗟／！」をなげる」などの詩句のまじる詩集だった。内野健児は総督府警務局へでかけ発禁押収の理由を問い合わせ、一部削除の条件で発禁を解かせられたが、京城中学校へ転任後の一九二八年、総督府に罷免され朝鮮内地へ追われ東京へ

東京へついで翌年、私立明星学園中学校につとめ、新井徹の仕事だった。新井徹は朝鮮の大田中学校教員時代、植民地支配下の朝鮮の現実を詩集『土培に描く』にまとめ、本名内野健児でだすが発禁押収された。朝鮮総督府追放という札のついていたこともあつたろう、のちの発病の原因となるほど拷問取り調べだった。

『詩精神』の発行は、居住の杉並区馬橋に前奏社をおき、夫人の後藤郁子を編輯発行兼印刷人として、そこではじめた。翌年三五年十一月まで二年近く二十一冊を編輯発行した。防衛も考えて新井徹を表にだすことはひかえ、後藤郁子を発行著名人として、夫妻で困難な日々を乗り切った。全国からの原稿の選は何人かで分担したが、配本、集金、経営を新井徹がうけもつた。新井徹ががんばり、づくということは、全國への心となるが、ほとんどが中井徹の仕事だった。新井徹は朝鮮の大田中学校教員時代、植民地支配下の朝鮮の現実を詩集『土培に描く』にまとめ、本名内野健児でだすが発禁押収された。朝鮮総督府追放という札のついていたこともあつたろう、のちの発病の原因となるほど拷問取り調べだった。

『詩精神』の発行は、居住の杉並区馬橋に前奏社をおき、夫人の後藤郁子を編輯発行兼印刷人として、そこではじめた。翌年三五年十一月まで二年近く二十一冊を編輯発行した。防衛も考えて新井徹を表にだすことはひかえ、後藤郁子を発行著名人として、夫妻で困難な日々を乗り切った。全国からの原稿の選は何人かで分担したが、配本、集金、経営を新井徹がうけもつた。新井徹ががんばり、づくことだ」という詩が動きはじめたことと、次への土台をつくりあげた感慨だった。そして最後に『詩精神』は次号から『詩人』に発展

「月給の大半を雑誌にぎこんで家主から追立てを喰つたり、朝早くから頭をさばたりした」という東京へついで翌年、私立明星学園中学校につとめ、新井徹は朝鮮の大田中学校教員時代、植民地支配下の朝鮮の現実を詩集『土培に描く』にまとめ、本名内野健児でだすが発禁押収された。朝鮮総督府追放という札のついていたこともあつたろう、のちの発病の原因となるほど拷問取り調べだった。

『詩精神』は、大江鉄磨、大石喜幸、倉橋潤一郎、森本真一郎らが登場し、大江満雄は中心になつて書きついだ。またこの『詩精神』は、大江鉄磨、大石喜幸、倉橋潤一郎、倉橋顕吉らをいつそう結びつけた。高知の作家同盟時代からひと足おくれて出発した世代であつたが、時代の詩をになう新しい芽であった。

的解消する。澆渥たる詩人』の姿を期待されよ！と入れた。

前奏社は『詩精神』二十一冊のほかに『一九三四

年詩集』『一九三五年詩集』、小熊秀雄詩集『飛ぶ植権』、雷石榆詩集『沙漠の歌』などもだした。新井徹はすぐれた編輯者であると同時に組織者だった。終刊号に新井徹は「詩作家六四人論」をかくが、遠地輝武、小熊秀雄、大江満雄ら数人をのぞいて、ほとんどがここで育つた人たちだった。

『詩人』にひきついだ。発禁も二回喰らつた。

『詩人』にひきついだ。発禁も二回喰らつた。



映画「わが青春つきらるもの」感想

「想像を絶する人生」「勇気ある行動に感動」

☆絶対見たいと思っていました。素晴らしい映画でした。よく、作って下さったと思いました。生命をかけて時代を切り開いていった人々のことを私は忘れてはいけないと思います。只、場面がきれいすぎると思ったところが何ヶ所かありました。

牢屋の壁や明るさ、排便も同じ部屋で臭氣もあつたでしょに、それらが映にこぎつけて下さった方々に感謝します。(86歳)

☆主役のお見事な演技と相まって、千代子の壮絶な勇気ある行動に感動しました。(73歳)

☆不屈の生き方をした伊藤千代子、すごいです。竹下景子の役の学長の言葉に涙が出ました。最初の赤旗の歌のバックミュージックも良かったです。(78歳)

☆伊藤千代子さんの名前も初めて聞き、どんな人生だったのか興味あり映画

を見にきました。想像を絶する人生で、衝撃を受けました。強い意志に心打されました。思想の自由の大切さや今の政治のあり方、私たちの生活そのものの見方を改めて感じた映画でした。とても良かったです。もっとたくさんの方に見ていただきたいと思いました。(55歳)

☆当たり前のことがまともに言えなかつた時代、これからもそんな世の中にしてはいけません。憲法をしっかりと守つていかねば、と思います。それでも男性は弱い：夫の変質を知つた千代子の絶望に胸が痛みました。

☆心震える思いでした。

満州での父の活動のこと

も初めて聞きました。まだどんな人生だつたのか興味あり映画

が施行された時の感動は今も忘れられません。こ

を見に来ました。想像を絶する人生で、衝撃を受けました。強い意志に心打されました。思想の自由の大切さや今の政治のあり方、私たちの生活そのものの見方を改めて感じた映画でした。とても良かったです。もっとたくさんの方に見ていただきたいと思いました。(55歳)

☆私たちの世代では想像もできないような事が実際にあつたとリアルに感じることができる作品でした。この頃の運動があつて現在我々があたりまえの事をして生活できていることを忘れないようにしたいと思います。同世代の人にも見てもらいたいと思いました。良い機会をありがとうございました。(43歳)

☆改めて改憲は絶対に阻止しなければならないと思いました。戦前に戻してはならない。千代子さんの想いとともに日本のことを考えていきたいです。塩沢さんのキャラがすごく良かった。(35歳)

☆見やすいのにすごく濃い映画でした。今は何か思想などの自由がありますが、このまま行けばまた同じような世の中になるのだろうかと不安です。(30歳)



ような命をかけて戦った日本共産党の人々の活動があつたおかげです。しかし、今の時代のほとんど人々はこのことを知らないと思います。なんと感じられませんでした。

として、絶対に戦前のような政治犯、治安維持法を繰り返してはいけません。正しいことを正しいと言わきない国にしてはいけません。人が人を殺す国にしてはいけません。

の人はこのことを知らないと思います。なんと感じられませんでした。

かして知つてもらいたい。

○女性部の広場

女性部に加えていただきました

夫・藤原義一が7月終わりに亡くなつてから、残された膨大な書籍の処置にとまどつて毎日です。

残された本の圧倒多数が歴史、それも太平洋戦争時代の諸々の資料的なものなので、ただ捨てるのはやめにしようと決めて並べ始めたのですが、果てしない作業になりそうです。



楳村浩の歌碑前で笑顔を見せる、ありし日の藤原義一さん

書棚に置いてあつたのは
本ばかりではありません。
楳村の生き方と作品に憧れ、どこまでも追求する心を失わなかつた生涯でした。平和と真理を探究するには過酷すぎる時代に生まれ、治安維持法の名の無念を、ほんの

60代になつてから通い詰めた大学の卒業証書やら、楳村浩の本を書くに当たつて集めた資料としての本、コピー、図版、等々…。

書家のどなたかの色紙が出てきました。趣味でやつていた自作の短歌を書いていたただいたものです。「ガリガリと 反戦の文字 刻みつつ ビラ作りおり

楳村浩は

10月幹事会報告

「わが青春つきものとも」再上映決定

私自身が彼の仕事を引き継ぐことはとてもできません。せめて志した方向を同じくして、不条理がまかり通る世の中の流れを止めて、一ミリでも

少しでも現代に生きる者に伝えたいーその思いをやりとげるには、義一にとつては75年の時間では足りなかつたのでしよう、最後まで「次の本」の中身が頭の中をめぐつているような口ぶりでした。

良い方向に前へ進ませたい、との気持ちで今回、お仲間に加えていただきました。

彼のメッセージとともにこれまで「次の本」の中身が頭の中をめぐつているような口ぶりでした。

☆伊藤千代子映画上映
高知市で2回日上映を決定
・日程 2023年1月8日(日)

・会場 自由民権記念館
14時~

☆全国女性交流集会
・参加者(秦愛・藤原尋子)の2名が県代表として参加します。
・ランチ会 10月1日8人参加+子供1人

「この星に
同じ時代に やつてきて
おもしろかったね
さあこれからも」
(藤原 寻子)

☆同盟員 263名

石塚直人さんが亡くなられました。ご冥福をお祈りします。

1名入会。

会員の皆様、23年国会請願に向けて署名集めにご協力ください。

会員拡大は上映会で4

人の方が入会となりました。是非この勢いで入会者を迎えるよう

・議会意見書
・県内議決自治体、要請
・資料の作成。

※進行中です。

・学習会

○編集後記
閣僚の辞任などバタバタする岸田政権。旧統一教会や国葬強行など野党の追及が続いています。一方、第8波も懸念される新型コロナウィルス。5回目接種も必須? (M)

日時 11月10日(木)
14時~
場所 平和資料館
草の家

★署名
(個人)90筆
(団体)0筆
★県本部総会の具体化
・署名・会員
※同封の署名用紙が返送されています。